

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「リッチモンド・パーク公立小学校通学バス整備計画」
贈与契約署名式**

２０２０年１月２３日、教育・青年・情報省において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「リッチモンド・パーク公立小学校通学バス整備計画」の贈与契約署名式が開催されました。

山崎大使は、挨拶の中で、持続可能な経済・社会発展には教育環境整備が不可欠であると述べ、本贈与契約によってジャマイカの子どもたちの通学環境の向上に協力できて光栄であると述べました。また、同学校及び地域住民が、気候変動に対応した灌漑施設を整備するなど、高い意識を持って教育活動を行っていることを高く評価しました。また、昨年１２月に行われた日・ジャマイカ首脳会談において署名された租税条約及び海上保安・災害対処能力強化のための無償資金協力についても言及し、５５年間におよび日本とジャマイカの友好関係が今後も一層深まることを期待しつつ、更に協力を深めたいと述べました。

ジャマイカ中部クラレンドン県モコ町に位置するリッチモンド・パーク公立小学校では、全児童数の７０％以上が険しい山間部に居住しており、学校から最も遠い集落は、車で約１時間の距離に位置しています。公共バスが未整備である上に、同校は通学バスを所有しておらず、日々の通学に大きな問題を抱えています。

今回のプロジェクトでは、同校に６７，９８５米ドルが供与され、通学バス１台が導入されます。この支援によって、登下校が困難な生徒の通学環境および課外活動への参加促進など同校の教育環境が改善され、同地域の学力向上および地域住民のエンパワメントに寄与することが期待されています。

今般の署名式には、被供与団体の代表、サミュエラ教育・青年・情報大臣、パーネル・チャールズ下院議長、学校関係者、報道機関関係者などの来賓が出席しました。

被供与団体代表であるゴードン校長は、日本の支援によって安全で便利な通学環境が整ったことへの深い感謝の意を述べた他、ジャマイカ政府側を代表して挨拶したサミュエラ教育・青年・情報大臣は、教育分野における重要性は施設整備だけではなく、全ての児童が平等に適切な教育にアクセスできる通学環境を向上することであると強調しつつ、日本政府のジャマイカに対する協력에深い感謝を述べました。また、本支援は同地域全体に大きなインパクトを与えると高く評価するとともに、裨益効果が永続することを期待しました。



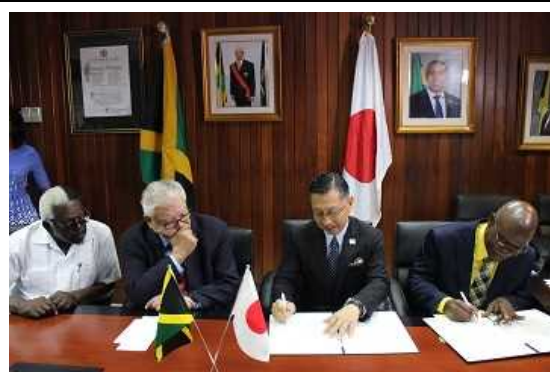
本支援の意義を述べる山崎大使



日本の支援に感謝を述べるサミュエル・教育・青年・情報大臣



パーネル・チャールズ下院議長



署名する山崎大使とデルウィン・ゴードン・リッチモンド・パーク公立小学校校長



式典参加者で記念撮影



詩で日本への感謝を披露したリッチモンド・パーク公立小学校の児童代表